

## 目 次

はじめに.....	1
1章 実験器具.....	3
1.1 ガラス器具 .....	3
1.2 桜 .....	7
1.3 管 .....	9
1.4 電気器具 .....	11
2章 ガラス細工.....	13
2.1 ガラス細工をするにあたって .....	13
2.2 基本操作 .....	14
2.3 簡単な器具のつくり方 .....	18
3章 真 空.....	21
4章 粉 碎.....	25
5章 加 热.....	29
6章 冷 却.....	35
6.1 冷却系 .....	35
6.2 反応系の冷却 .....	37
6.3 液体窒素容器の取り扱い方 .....	37
7章 溶解・融解.....	41
7.1 溶 解 .....	41
7.2 反応を伴う溶解 .....	42
7.3 融 解 .....	43
8章 搅 拌.....	45

9章 抽出	51
10章 ろ過と遠心分離	55
10.1 ろ過	55
10.2 遠心分離	61
11章 乾燥	63
11.1 液体の乾燥	63
11.2 固体の乾燥	66
11.3 気体の乾燥	68
12章 蒸留・濃縮・昇華	71
13章 再結晶・脱色	79
13.1 再結晶	79
13.2 脱色	81
13.3 分別結晶・分別沈殿	81
14章 吸着クロマトグラフィー	83
14.1 担体(固定相)	83
14.2 展開溶媒(移動相)	83
15章 秤量	89
16章 密度・比重の測定	93
16.1 気体(デュマ法)	93
16.2 液体	94
16.3 固体	97
17章 温度の測定	101
18章 融点・分解点	105
18.1 液浴による方法	106
18.2 金属ブロックによる方法	108
18.3 ホットプレートによる方法	108

19章 pHの測定	111
19.1 pHメーターによる測定	111
19.2 指示薬(pH試験紙)による測定	112
20章 容量器と滴定	115
20.1 容量器(化学用体積計)	115
20.2 滴定	119
21章 付表	123
ギリシャ文字	123
数に関するおもな接頭語	123
SI単位	124
基本物理定数	124
単位換算表	125
おもな酸・アルカリ溶液の性状	126
おもな有機溶剤の性状	127
高圧ガスの性状と容器	127
プラスチックの耐薬性	128
金属の耐薬性	129
電気関係の記号	129
回路の記号	129
沸点換算図表	130
酸塩基指示薬	131
おもな実験器具とその名称	132
索引	137